

未来を見据えた政策をさらに前進 ～砂沼周辺のまちづくりや再生可能エネ導入～



◆プロフィール◆

菊池 博（きくち ひろし） 1962年6月12日生まれの59歳。中央大学理工学部管理工学科卒業。2003年、旧千代川村議会議員に当選。市町村合併後も議員として市政に関わった。18年に市長就任。今回、2期目の当選を果たした。趣味は読書と犬の散歩。1期目の選挙の時から飼っている黒柴との散歩が日課となっている。

◆公共施設の未来は
下妻市と市民文化会館の在り方について以前から検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大以後、感染症対策を意図した運営方法を当然考えていかなければならなかった。人を集めてイベントを実施するといった、従来のスタイルを根本的に見直していかなければならなかった。



◆建設業の機動力を頼りに
一昨年8月に、下妻市建設業会、千代川建設業協会、下妻市電友会、下妻市上下水道組合、下妻市造園協会の5団体と、意見交換会をした。昨年はコロナのこともあり開催できなかったが、今年はまた話し合いの場を設けられればと思う。意見交換は、一年に一回は行いたい。

◆市を育む資源・砂沼
砂沼は、下妻の宝であり資源であるため、これをうまく活用すれば、観光における集客や住みよいまちづくりができるのではないかと、意見も多かった。砂沼を中心としたエリア全体のまちづくりを進めていきたい。

◆市民連携のまちづくり
市では、新型コロナウイルス感染症のこともあり、これまで思っていたような運営ができなかった。砂沼の西南に位置するこの周辺も一体的に市の活性化の中心としていきたいと考えている。

◆再生可能エネルギー導入
市では、再生可能エネルギーの導入を推進している。再生可能エネルギーの導入を推進している。再生可能エネルギーの導入を推進している。

◆SDGsと防災の両立
太陽光発電については、SDGsの観点からはもちろん、災害など非常時の電源として活用できる。今後は、再生可能エネルギーの導入を推進している。

◆庁舎跡地は官民連携を検討
現在、工業団地の調整池を太陽光発電所として利用する仕組みを考えていて、隣接する企業の意向を確認している。

◆庁舎跡地も民間と連携
現在使用している庁舎は、耐震性に問題があるため解体する予定。跡地については、民間からの需要も考えられることから、官民連携の手法なども視野に入れて、市民に喜ばれる活用方法を考えていきたい。

庁舎跡地は官民連携を検討

◆美を結ぶための4年間
1期目4年間の中で、思い描いていたようなまちづくりが実現できなかった。2期目は、思い描いていたようなまちづくりが実現できるようにしたい。

◆再生可能エネルギー導入
市では、再生可能エネルギーの導入を推進している。再生可能エネルギーの導入を推進している。

◆SDGsと防災の両立
太陽光発電については、SDGsの観点からはもちろん、災害など非常時の電源として活用できる。今後は、再生可能エネルギーの導入を推進している。

◆庁舎跡地も民間と連携
現在使用している庁舎は、耐震性に問題があるため解体する予定。跡地については、民間からの需要も考えられることから、官民連携の手法なども視野に入れて、市民に喜ばれる活用方法を考えていきたい。

◆公共施設の未来は
下妻市と市民文化会館の在り方について以前から検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大以後、感染症対策を意図した運営方法を当然考えていかなければならなかった。

◆建設業の機動力を頼りに
一昨年8月に、下妻市建設業会、千代川建設業協会、下妻市電友会、下妻市上下水道組合、下妻市造園協会の5団体と、意見交換会をした。昨年はコロナのこともあり開催できなかったが、今年はまた話し合いの場を設けられればと思う。意見交換は、一年に一回は行いたい。

◆再生可能エネルギー導入
市では、再生可能エネルギーの導入を推進している。再生可能エネルギーの導入を推進している。

◆SDGsと防災の両立
太陽光発電については、SDGsの観点からはもちろん、災害など非常時の電源として活用できる。今後は、再生可能エネルギーの導入を推進している。

◆庁舎跡地も民間と連携
現在使用している庁舎は、耐震性に問題があるため解体する予定。跡地については、民間からの需要も考えられることから、官民連携の手法なども視野に入れて、市民に喜ばれる活用方法を考えていきたい。

◆公共施設の未来は
下妻市と市民文化会館の在り方について以前から検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大以後、感染症対策を意図した運営方法を当然考えていかなければならなかった。

◆建設業の機動力を頼りに
一昨年8月に、下妻市建設業会、千代川建設業協会、下妻市電友会、下妻市上下水道組合、下妻市造園協会の5団体と、意見交換会をした。昨年はコロナのこともあり開催できなかったが、今年はまた話し合いの場を設けられればと思う。意見交換は、一年に一回は行いたい。



▲2023年の開庁を予定している新庁舎

下妻公民館 今年度に方向性探る

このたび2期目の当選を果たした菊池市長。1期目では、砂沼を中心としたまちづくり、新たな工業団地、再生可能エネルギー導入など、市の未来を見据えた事業を進めるための積み重ねを重ねた。市が抱える課題と真摯に向き合い続けた4年間を経て、今後どのように政策を成し遂げていくのか。「積小為大」を座右の銘とする菊池市長の思い描く、市のビジョンについて話を聞いた。

等の仕事が始まっている。これからは、再生可能エネルギーの導入を推進している。再生可能エネルギーの導入を推進している。

地域の守り手として使命を果たし、市政発展に貢献します

下妻市千代川建設業協会

会長 中川原 勇〔石塚産業(株)〕
副会長 柴 孝光〔旭建設工業(株)〕
理事 横関 順一〔横関建設(株)〕
理事 青柳 晴男〔(株)青柳工務店〕
監事 荒川 博〔(有)アラ川〕
監事 青柳 静男〔青柳建設(株)〕

青柳建設(株) (有)内田建設 (有)蘭部組 富士住建(株)
(株)青柳工務店 (有)荏部建設 (有)高橋建設 都建設工業(有)
旭建設工業(株) (株)菊池組 (有)中山産業 横関建設(株)
(有)アラ川 (有)桜井企業 のだや建設(株)
石塚産業(株) (有)関工務店 平塚建設(株)

事務所/下妻市宗道86-3 電話0296-43-1377

下妻市建設業会

会長 塚田 隆一〔塚田建設(株)〕
副会長 山本 宗理〔(株)下妻建設工業〕
監事 飯村 建一〔(株)飯村建設〕
監事 伊東 工務店〔(株)伊東工務店〕
監事 内山 建設〔(株)内山建設〕
監事 大野 製作所〔(株)大野製作所〕
監事 門井 建設〔(株)門井建設〕
監事 クシタ 建設〔(株)クシタ建設〕
監事 栗崎 建設〔(株)栗崎建設〕

塚田建設(株) 茨城支店 塚田建設(株) 茨城支店
(株)下妻建設工業 (株)下妻建設工業
(株)飯村建設 (株)飯村建設
(株)伊東工務店 (株)伊東工務店
(株)内山建設 (株)内山建設
(株)大野製作所 (株)大野製作所
(株)門井建設 (株)門井建設
(株)クシタ建設 (株)クシタ建設
(株)栗崎建設 (株)栗崎建設

事務所/下妻市比毛29 TEL 0296-43-6789